

山崎川グリーンマップ



代表者●代表/大矢美紀 設立年月日●平成17年1月

主な活動場所●名古屋市 山崎川

主な活動テーマ●川づくり

<http://www1.m1.mediacat.ne.jp/a-ohya/>

活動の目的

山崎川周辺では、周辺の都市化、洪水対策のための護岸工事、そして現在は外来種の影響で、本来生息しているはずの在来種の数が減り続けています。外来駆除など具体的な策を施さないで在来種の減少に歯止めがかかりませんが、そのためには地域の住民の理解が不可欠です。地域の人を巻き込みながら、在来種を守り、次世代へ多様な生物が住む豊かな川を地域財産として引き渡すことを目的としています。

主な活動内容

平成17年に地元子供会から団体を立ち上げ、自然環境保全活動を実施し、定期的な調査他に、山崎川周辺の各小学校の総合的な学習の時間に対する支援活動も行っています。また、山崎川に生息する在来種のカメの住民票作りを進め、その保護に努め、あわせて外来種のアカミミガメの駆除活動にも取り組んでいます。

■山崎川の生物調査と外来種駆除活動

地域の小学生と一緒に、生物調査を行うとともに、特に在来種のカメを保全する活動を行っています。

■山崎川の昔の様子に関する聞き取り調査

山崎川周辺の住民を対象に、昔の様子を聞き取り、その結果を「山崎川いまむかし」として取りまとめ、冊子を発刊しています。



昔の様子の聞き取り



小学生とともに
生き物調査



カメの住民票作り

生き物の解説

団体アピール

都会の真ん中を流れている山崎川は、人と自然がふれあう大切な場所です。じっくり観察するとたくさんの種類の生き物がありますが、私たち人間の勝手な行いで数が減ったり、絶滅してしまったものもあります。山崎川の大切な自然を守るためにも生き物たちの関心の目を向けてください。都会の自然は私たちが守らなければ消えていってしまうかもしれません。

NPOたかはま



代表者●理事長／杉浦 勝利 設立年月日●平成13年6月18日

主な活動場所●高浜市

主な活動テーマ●まちづくり・川づくり

<http://www.sun-inet.or.jp/~tayoshi/>

活動の目的

- ①高浜地域住民に対して、稗田川を始めとする環境保全、美化活動事業を行い、地域の個性や魅力を活かし、住みよいまちづくりを行うことを目的とします。
- ②地域の公共施設の施設使用管理を始めとする、地域住民の社会教育、生涯学習に寄与することを目的とします。
- ③地域福祉の核である宅老所を始めとする福祉活動を支援し、ふれあいと安心のある地域福祉の向上を目的とします。

主な活動内容

本会の事業活動趣旨に賛同いただいた構成団体として「NPOたかはま・清流会」「NPOたかはま・水明会」「NPOたかはま・悠遊会」が、平成24年度以降も引き続き、自発的・自律的に活動をしています。

環境保全&美化活動としては、毎月1回程度、稗田川の草刈り・育樹・水質検査などの活動や地域公園の芝刈り・草取り清掃などの活動を行っています。

■高浜市内の河川環境保全・美化事業

稗田川の草刈りや育樹活動、並びに水質検査を実施しています。

■高浜市内の道路公園等公共施設の環境保全・美化活動

地域公園の芝刈り・草取りや清掃活動、並びに育樹活動などを実施しています。

■地域の宅老所運営管理の事業活動



稗田川の草取り・清掃活動



公園の芝刈り&整備活動



児童たちの花壇手入れ

写真提供：NPOたかはま

団体アピール

多自然型の河川改修事業が進められている稗田川での植樹活動や環境保全・整備活動に、地域団体として取組むとともに、行政や企業をパートナーとして、まちづくりに参画するため、稗田川の清掃や草刈りを実施していたボランティア団体・清流会が母体となり、当団体を設立しました。

刈谷環境支援員の会

代 表 者 ● 会長 / 篠原 敏典 設立年月日 ● 平成22年3月19日

主 な 活 動 場 所 ● 刈谷市、刈谷市内の河川(逢妻川、森前川、薬師川、折戸川)

主 な 活 動 テーマ ● 川づくり

<http://genki365.net/gnkk/mypage/index.php?gid=G0000396>



活 動 の 目 的

環境問題を介して、人とのつながり活動に積極的に参加して、地域住民への情報発信と、環境意識向上のための必要な普及活動を目的としています。

主 な 活 動 内 容

活動内容として、「きれいな水と空気の世界づくり」「ゴミの少ないきれいな町づくり」「地球にやさしい省エネ活動」「自然とふれあう環境づくり」「環境教育の普及推進活動」を行っています。

■ 水質調査や生き物しらべ

森前川で朝日中学科学部と連携し水質調査を行っています(毎月一回実施)。活動を通して水質調査の仕方(COD・BOD・透視度計)と年間を通して変化の記録から生活排水による環境影響を理解し環境問題を学んでもらうとともに、調査手順の下級生への継承による継続活動をおこなっています。

■ 川の上流探検ツアー

川への理解を深め、大切に作る心を育むため川の上流を探索するツアーを実施しています。

■ 環境学習

- ・生ゴミ堆肥(コンポスト)づくり講座
- ・親子で川の水質調査(逢妻川を調べよう)講座
- ・エネルギー施設見学ツアー など



イベントでの啓発活動



川の水質調査

写真提供: 刈谷環境支援員の会

団 体 ア ピ ー ル

環境問題は一人一人の行動がカギを握っています。自分たち市民の手で刈谷をよりよくしていく活動をしています。まずは市民自らが行動して取り組めることから始め、そして、私達環境支援員と一緒に活動を始めませんか!

ちせいの里 ロックエンゼルの会

代 表 者 ● 会長 / 榊原 茂夫 設立年月日 ● 平成15年10月1日

主 な 活 動 場 所 ● 岡崎市茅原沢町

主 な 活 動 テーマ ● 森づくり・郷づくり・まちづくり

<http://keiryuunomori.jimdo.com/>



活 動 の 目 的

岡崎市茅原沢町「ちせいの里」に隣接する約5ヘクタールの森を「蛍流の森」と呼びます。この森の整備や保全の活動を自然環境の保護を目指す有志による活動で、蛍流公園奥から湧出する地下水や沢水の保全に努め、ホタルが舞う豊かな自然環境の育成を目的としています。

主 な 活 動 内 容

ホタルが舞う豊かな自然環境の育成を行っていくために、次の事業を行っています。

- 石清水湧水地点の保全・管理と、安定した石清水の確保をはかる。
- 石清水を利用し、酒造場に依頼して日本酒「天使の舞」を醸成する。
- 蛍流公園周辺の山林を「里山」として整備する活動に参加し、より豊かな自然環境づくりを進める。



蛍流の森整備保全活動



ホタルの里のフジバカマ



ホタルの幼虫の放流

写真提供：ちせいの里ロックエンゼルの会

団 体 ア ピ ール

「蛍流の森」整備・保全事業の開始を契機に、町内組織「清流の会」との密接な連携を深め活動を進めています。さらに、会員に高校生の参加もあり、老・壮・青・小各層の有志によって発展を続けています。今後とも様々な方と連携しながら活動をしていきたいと思っています。

特定非営利活動法人 おやこでのびっこ安城

代 表 者 ● 理事長 / 神谷 由美子 設立年月日 ● 平成14年11月15日

主な活動場所 ● 安城市 ほか

主な活動テーマ ● 森づくり・郷づくり・まちづくり

<http://www.geocities.jp/oyakodenobikko/>



活動の目的

安城市及びその近隣の市の子どもに対して、文化活動、社会活動の機会の拡充と振興を図る事業を行い、よって子どもの豊かな成長に寄与することにより社会全体の利益に貢献することを目的としています。

主な活動内容

子どもの豊かな成長に寄与するために、「子どもの健全育成を図る活動」「文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」「社会教育の推進を図る活動」「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」を行っています。特に子どもの健全育成を図る活動として、次のような子ども体験活動事業を行っています。

■自然体験活動

のびっこ森林隊として木こり体験、工作体験、森の探索を行い、のびっこ野遊び隊として、川遊びや雪遊びを行っています。

■芸術文化体験活動

芸術や科学の楽しさを体験します。

■芸術鑑賞活動事業

観る・聴く・感じるために演劇、コンサート、人形劇などの舞台を鑑賞します。



木こり体験



木工体験



のびっこ森林隊集合写真



森遊び(ターザンロープ)

団体アピール

子どもたちは生活の中で、メディアを通じた疑似体験が増加し、実体験する場面が減少しています。子どもたちが五感で感じる文化的な環境を整えることが私たち大人の役割です。そして、子どもが心豊かに育つためには、いろいろな世代の人たちとの出会いや関わりが重要です。「地域で子どもを育てる」という考えのもと、多様な人が気楽に安心して集まることのできる場を創りだしています。

認定特定非営利活動法人 地球温暖化対策地域協議会 エコネットあんじょう

代 表 者 ● 理事長 / 神谷 輝幸 設立年月日 ● 平成18年11月26日

主な活動場所 ● 安城市 ほか

主な活動テーマ ● 森づくり・郷づくり・まちづくり・川づくり

<http://econetanjo.org/>



活動の目的

市民に対して、地球市民として環境に対する意識の高揚を図るための啓発活動及び、安城市の環境課題を具体的かつダイナミックに解決する事業を行い、安全で持続可能な地域の良好な環境の保全と創造に寄与することを目的としています。

主な活動内容

市民、市民団体、事業者、公共団体がそれぞれの役割を担う形でネットワークを組み、自然、美化、くらし、河川の4つの部会を構成して環境問題の解決に向けて取り組んでいきます。
また、プロジェクト事業では、「矢作川水源の森トラストプロジェクト」として、矢作川源流長野県根羽村の広葉樹の自然林36haを、水源涵養林として市民で買い取り、永久保存するための募金活動を行っています。

■自然部会

市内の生態系豊かな自然を守り改善するため、自然観察会や環境学習講座などを実施しています。また、間伐ボランティア「エコネットチェンソーズ」を立ち上げ活動しています。

■美化部会

安城市を花と緑あふれる美しい街並みにするため、ガーデニング講座やいきいきウォークラリーなどを実施しています。

■くらし部会

日常生活の衣食住に関する身近な環境課題に取り組み、暮らしやすい安城市をつくるため、ゴミ分別などの環境学習講座や市民参加の視察研修などを実施しています。

■河川部会

市内の河川や堤防を生態系豊かで親しみの持てる状態にするために、半場川クリーン活動、水質調査や水生生物等の環境学習講座などを行っています。



エコネットチェンソーズ



田んぼの生き物採集



生き物の観察



水源の森
購入予定地



間伐体験

写真提供: エコネットあんじょう

団体アピール

当会は、平成25年10月1日から安城市で第1号の認定NPO法人となりました。これを節目に一層活動を発展的に展開し、環境に優しい安城市民が多く育っていくことを願っています。また、安城市内の環境保全・教育活動とともに矢作川流域社会を視野に入れ長野県根羽村と連携して活動しています。市民の皆さん、ぜひ、エコネットあんじょうの仲間として、行動をともにしましょう。

鳥川ホタル保存会



代表者 ● 会長 / 松田 直人 設立年月日 ● 平成6年5月1日

主な活動場所 ● 岡崎市鳥川町 ほか

主な活動テーマ ● 森づくり・郷づくり・川づくり

<http://www.oklab.ed.jp/tokkawa/>

活動の目的

- ① 私たちのかけがえのない、「鳥川のホタル」並びに「名水百選の水」を守り、私たちが郷土を愛する心を次代に伝える。
- ② 自然保護の観点から、ホタルの保護並びに水環境の保全について、皆さんの理解と関心を高めてもらう。
- ③ ホタルの保護活動・鑑賞、並びに名水の管理・啓発を通して、鳥川の自然保護の大切さを理解してもらおうとともに地区の発展に資する。

主な活動内容

ホタルの幼虫の餌になるカワニナを増やしたり、川の清掃や川沿いの間伐などをおこない、ホタルが自生する自然環境を守る活動を行っています。また、ホタル保護を原点とした水環境保全活動として、ホタル保護育成を図るための環境整備、平成の名水百選の維持管理や登山道の整備、啓発イベントとしてホタルまつりや山歩きイベントを開催しています。

■ ホタル保護育成を図るための環境整備

■ 平成の名水百選の維持管理や登山道の整備

■ ホタルまつりやホタルの里の山歩きイベントなどの啓発事業

ホタルシーズンである6月にホタルまつりを開催したり、鳥川の森林や水の恵みを体感してもらうための山歩きイベントを開催しています。



ホタルの幼虫放流



山歩きスタート



ふないどの水



山歩きイベント

団体アピール

鳥川は天然の「ゲンジボタル」が棲息する貴重な流域です。夏には、神秘的なホタルの光が乱舞する、幻想的な風景が見られます。平成20年6月には、環境省より「鳥川ホタルの里湧水群」が平成の名水百選に指定されました。それら清らかな水が流れ込む鳥川の流域一体にホタルが多数棲息しています。鳥川の豊かな自然に触れて、忘れかけていた四季折々の風景(里山)や日本のふるさつを見つけてもらいたいと思います。

半田こどもエコクラブ

代 表 者 ● 代表 / 山田 和男 設立年月日 ● 平成15年4月27日

主な活動場所 ● 知多半島周辺

主な活動テーマ ● 森づくり・まちづくり・川づくり・里海づくり



活動の目的

知多半島全域や愛知県内の自然を親子で体験し、自然や生き物のすばらしさを理解する感性を身につけることで、子供たちの心を「やさしく」「豊かに」することを活動の目的としています。

主な活動内容

川的环境や生き物に関心を持つ活動を通して、地域環境保全活動を行っています。特に半田市内で見られなくなった絶滅危惧種トビハゼの生息環境を改善したり、繁殖活動をしたりする活動を行っています。また、三河湾の磯や干潟の生き物調査を行っています。

- 磯・干潟に生息する生き物観察や調査
- 半田市内の干潟の清掃とトビハゼの放流活動
- 山・川・海のつながりを体感するための森林の間伐活動
- 川に親しむためにカヌー体験や川の生きもの観察



干潟の清掃活動



磯に棲息する生き物観察



カヌー体験の集合写真

写真提供：半田こどもエコクラブ

団体アピール

親子参加で知多半島の自然に触れ、環境の大切さを楽しく学ぶ活動を続けています。かつて半田市の干潟にはトビハゼが生息していました。今では見られなくなってしまったトビハゼがまた戻ってこられるように子供たちとともにいろいろな活動をしています。また、活動の継続に大切なことは、楽しいことです。さらに、地域・行政・企業が協力し合える環境保全活動です。多くの方の意見に耳を傾け、今後も活動を進めて行きたいと考えています。

東幡豆漁業協同組合

代 表 者 ● 代表理事組合長 / 石川 金男 設立年月日 ● 昭和24年10月

主な活動場所 ● 西尾市東幡豆町

主な活動テーマ ● 里海づくり

<http://www.katch.ne.jp/~higasihazu-gk/>



活動の目的

組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的としています。

また、近年では、藻場・干潟の環境や生態系の保全や漁場環境の良好な保全と資質向上を図る活動にも取り組みます。

主な活動内容

上流域に住む子供たちに、干潟を体験していただく活動を通して、森と川と海がどのようにつながっているかを伝えます。そして、森林保護や川の流域をきれいにすることの大切さを知ってもらうため干潟の体験学習を行っています。

■ 無人島探検で自然とらめっこ(干潟の体験学習)

前島(無人島)で干潟の体験学習や、自然観察会を開催しています。干潟に生息する生き物の採取を通して、海の浄化には干潟が重要であることや、多くの生物が生息していることを学びます。

干潟の生き物採取



干潟の生き物の解説



前島へは歩いて渡れます



アサリの浄化実験

団体アピール

山や大地はそれ自体が降り注ぐ雨を濾すフィルターであり、それを蓄える地下水のかん養能力を持っており、干潟には浄化作用があります。これらは天然のハードウェアといえるもので、森林や干潟の自然環境が重要視され保全していかなければいけないものだという認識は大変重要であります。次世代を担う子供たちに干潟の体験活動を通して、森林保護や川の流域をきれいにすることの大切さを知ってもらいたいと思い、活動しています。

皆さんも、東幡豆の干潟を体験するために是非お越しください。

へきなん市民環境会議



代表者●会長／竹原 幸子 設立年月日●平成16年8月3日

主な活動場所●碧南市 ほか

主な活動テーマ●森づくり・里地づくり・まちづくり・川づくり

活動の目的

碧南市環境基本計画を推進するために、市民・事業者・行政の三者協働で実践するために設立した組織。環境基本計画の推進と碧南市内の環境の向上を目的としています。

主な活動内容

愛知県内の森と緑の大切さを体感するためのエコツアーや環境リーダーの人材育成、そして、油ヶ淵の水質検査などを行っています。また、エコツアーなどで撮影した写真を市役所のロビーで展示し、市民に活動内容を紹介しています。

■あいちの森と水を学ぶ環境学習講座

健全な水循環再生を学び、森や緑が水質浄化や水量確保などの機能を果たしていることを、フィールドワークを通して体感し、学習しています。

■環境リーダー養成講座

木と森を学ぶ講座として、木の大切さや木のすばらしさを子供たちに伝える手法を学び、そして、森や木に関心を持つようにゲームやワークショップを取り入れて初心者にも分かりやすく、他人にも伝えやすい方法を学んでいます。このような活動を通じて、次世代を担う環境リーダーの養成を行っています。

■油ヶ淵の水質検査や清掃活動

周辺市民とともに油ヶ淵の水質検査や清掃活動を行い、水質環境に関する現状について学習しています。

■生ゴミの堆肥化活動

生ゴミの排出を減らすことを目的に、毎年市民に生ゴミ処理のアンケートと「土のう式生ゴミ処理」のモニターになってもらいその結果を参考にし、改善および普及に努めています。



エコツアー集合写真



木と森を学ぶワークショップ



活動写真展(碧南市役所ロビー)



エコツアーによる樹木観察

団体アピール

すべての人に森と緑に関心を持ってもらい、森の重要性について認識してもらうため継続的に活動を行い、新たな人材育成に繋がるよう取り組んでいきたいと思っています。楽しい活動もありますので、多くの人に参加してほしいので年齢を問わず待っています。

矢作川をきれいにする会



代表者●会長/石川 金男 設立年月日●昭和48年8月8日

主な活動場所●矢作川流域

主な活動テーマ●川づくり・里海づくり

活動の目的

矢作川とその流域河川の汚染を防止し、川や海に自然を取り戻すことを目的としています。

主な活動内容

目的達成のため矢作川流域の水質に関するパトロールや、矢作川流域の上流下流域の相互理解を深めるための交流などを実施しています。また、三河湾は、地元にある身近な自然資源であることから、一色干潟、トンボロ干潟などの「干潟が持つ自然浄化能力」を環境学習の場として活用し、里海を保全する意識を向上させるための教育活動も併せて行っています。

■矢作川水系に係る工事現場や工場排水などの監視パトロール

■三河湾浄化推進の啓発活動

■環境イベントへの参加や小中学校への講演

■干潟の生き物観察会や海岸清掃活動

■三河湾クルーズ!『海の生き物』調査隊!の開催

(内容)海岸漂着ごみや海の生き物を観察しながら、漂着ごみはどこから流れてくるのか、森林の役割は何か、干潟に棲息する生き物が水を浄化してくれる機能などについて学習します。



監視パトロール



底引き網による生き物とゴミの調査



干潟観察会



山の子潮干狩り招待

写真提供: 矢作川をきれいにする会

団体アピール

昭和48年に矢作川河口域の漁業協同組合が連携し当会を結成し、平成22年に創立40周年記念事業を開催しました。矢作川の水質浄化のために、引き続き工場や工事現場からの排水に関するパトロール、そして環境学習などを開催していきたいと考えています。

矢作区ワークショップ 実行委員会

代 表 者 ● 委員長 / 大内 健 設立年月日 ● 平成14年4月1日

主な活動場所 ● 豊田市小原地区

主な活動テーマ ● 森づくり・川づくり



活動の目的

地域住民の積極的な生活環境改善活動により、安全安心な地域を目指すとともに、住民相互の協力、扶助体制の強化を図り憩いと安らぎの地域づくりに資することを目的としています。

主な活動内容

上流域と下流域の住民交流を図りながら間伐や枝打ち作業を行い、日光の入る森へと再生した姿を体験してもらうことで、森林の機能や山間部の暮らしについて学習しています。また、矢作川の水生物調査や河川敷の環境整備も行っています。

■ 間伐及び枝打ち作業の体験講習会の開催

上流域と下流域の住民交流による放置林の間伐及び枝打ち作業などの体験講習会を開催しています。

■ 矢作川教室の開催

親子で楽しみながら魚類やそのエサとなる水生生物を採取して、自然を守ることの大切さを体験・実感します。

■ 矢作川河川敷の整備事業

地域住民に親水域を提供することやゴミの不法投棄を未然に防ぐため、河川敷に繁茂している竹林を伐採し、景観整備を行っています。



間伐体験



採取した生き物の解説



ガサガサ体験



団体アピール

森林の保水力などの機能を学習しながら放置林の間伐体験を行っています。また、子供たちに水に親しんでもらいながら水と森の繋がりや大切さや体感してもらっています。これらの活動を通して、住民相互の協力体制が強化できれば素晴らしいと思っています。

渡し場かもめ会



代表者●会長／神谷 正巳 設立年月日●平成12年4月1日

主な活動場所●高浜市

主な活動テーマ●まちづくり・里海づくり

活動の目的

藤江の渡しを通じて郷土の歴史を重んじ地域文化の継承を図りながら、自然と生活の環境浄化に努めるため安立荘前海岸一帯の清掃を行う。また、地区の福祉の拠点として、住民同士がふれあうことを目的としています。

主な活動内容

毎月第1日曜日に海岸約1.5キロを清掃し、周囲に花を植えるなどの環境美化活動に力を注いでいるほか、かつての歴史や文化を後世に残そうと「芳川渡し場まつり」を開き、嫁入り船の再現や、毎年地元の小中学生を対象に干潟の生物調査や衣浦湾の水質調査などを行っています。

■海岸の美化活動

安立荘前海岸一帯に捨てられているごみを拾ったり、海岸のあちこちに不法投棄防止啓発の看板を立てたりして海岸の美化に努めています。

■干潟の生物調査や衣浦湾の水質調査

衣浦湾の水質調査や干潟に生息する魚貝類の生物調査などの環境学習を行っています。

■芳川渡し場まつりの開催

毎年10月に、渡し場近くの特別養護老人ホームの入所者らと協力し、「芳川渡し場まつり」を開き、往時の嫁入り船を再現しています。

藤江の渡しは江戸時代から三河と知多をつなぐ交通手段で、旅人や行商人のほか花嫁らも利用したといわれています。



海岸の美化活動



渡し場まつりの嫁入り船



渡し場まつり



写真提供：渡し場かもめ会

団体アピール

衣浦大橋が完成するまで三河と尾張を結ぶ重要な交通機関として大きな役割を果たしていた「藤江の渡し」。現在ではこの「藤江の渡し」跡に記念碑が建ち、年に一度、地元芳川町町内会と特別養護老人ホーム安立荘などが協力し、昔を偲んで「芳川渡し場まつり」を開催しています。この歴史ある海岸を保全し、ずっと後世に伝えるべきであります。本会の目的に賛同される方ならどなたでも歓迎します。

湾・ワン・浄化市民塾

[正式名称:知多の自然を良くする会]

代 表 者 ● 代表 / 竹内 睦治 設立年月日 ● 平成19年7月1日

主な活動場所 ● 知多半島(半田市・武豊町・美浜町・南知多町・阿久比町・常滑市)

主な活動テーマ ● 川づくり・里海づくり



活動の目的

知多半島で自然のために良い事をしているボランティアグループの情報交換とお互いの相互支援、浄化活動を楽しみながら伊勢湾・三河湾を未来の子供達のために市民の力できれいに残してあげてを目的としています。

2つの湾、英語のワン(1人でも1つの事でも)で自然に良い事を、市民の力を集めて浄化を!

主な活動内容

平成19年10月に設立記念講演会を開催し、以後、知多半島の川・池・海で水質浄化活動を行うとともに、知多半島の環境団体と連携しながら勉強会や情報交換を行っています。また、相互に支援し合うとともにグループ活動を通して、刺激し合い、切磋琢磨しております。

■水質浄化活動の実施

微生物の力を借りて、川や池などの浄化活動を行っています。また、市町や子供会とも連携し、地域の方に笑顔と元気をもらってボランティア活動をしています。

■水質浄化活動に関する発表会の開催

H19年10月 設立記念講演会開催[美浜町]

H24年 6月 花の街づくりと水浄化活動事例発表会開催[武豊町]

4町長列席(阿久比・武豊・美浜・南知多)、児童による浄化劇上演

H25年 7月 美浜町における浄化活動事例発表会



平成25年美浜町の講演会
(美浜町総合公園体育館)



矢勝川の浄化活動に
歓声をあげ大喜びの
子供達



小学生に水質と
生物の説明



シンボルマーク
(知多半島はイルカに
抱かれています)

写真提供:湾・ワン・浄化市民塾

団体アピール

人と地球に優しい有用微生物を活用することにより、川の異臭がなくなり川がきれいになります。そして、生きものが復活し、周辺に住む人たちが穏やかで楽しみを持てるよう、市民活動としてボランティア活動を進めています。

川・池・海の浄化が進み、多くの水生生物が生息しエサを求める水鳥や野鳥が数多く集まる自然風景を復活させましょう!

音羽川の会

代 表 者 ● 会長 / 安達 勇 設立年月日 ● 平成15年7月9日

主な活動場所 ● 豊川市 音羽川

主な活動テーマ ● まちづくり・川づくり



活動の目的

ボランティア活動を行い、自然環境と共生できる住みよい街「ニューふるさと御油町」を目指し、音羽川河畔を美しく保ち、ホタルの棲息できる清流の確保と、地域社会に貢献していくことを目的としています。

主な活動内容

音羽川河畔の草刈りなどの美化活動事業をメインの活動としており、いつでも子ども達が安心して遊べるよう川辺を整備したり、子ども達が川に親しめるようイベントの計画を行ったりもしています。

■ 音羽川河畔の草刈り等の美化活動事業

音羽川の御油大橋から五反橋の間で草刈りを定期的に行ったり、コスモスの植え付けなどの美化活動事業を行っています。

■ 音羽川環境改善に関する意識の啓蒙啓発活動

ホタルの幼虫放流や音羽川の水質調査を行っています。水質調査は平成20年6月より毎月9日に、青戸橋(御油町の中心部)で試薬によりCOD、リン酸、DO、pHの4項目を調査しています。

■ 会員相互の親睦と教養の向上を図る事業

会員の啓発活動を推進するために、会員や地域住民を対象に環境保全に関する研修会を開催しています。

御油小学校と
クリーン活動



コスモスと彼岸花



音羽川の水質調査



音羽川で遊ぶ子供たち

写真提供: 音羽川の会

団体アピール

「ホタルが棲息できる清流」「一年を通じて市民が集い、楽しむことができる憩いの場」を目指し、会員52名の一同が知恵を出し合いながら、音羽川的环境整備に取り組んでいます。音羽川を地域の大切な資源として共に考え、行動していただける方、参加をお待ちしています。

国府小学校区 コミュニティ推進委員会

代表者●会長／正田 稔 設立年月日●昭和50年5月31日

主な活動場所●豊川市、音羽川

主な活動テーマ●川づくり



活動の目的

かつて音羽川ではホタルが舞い、水遊びや洗濯をする光景がよく見られました。しかし、時代が流れ生活が便利に豊かになるのは裏腹に、ホタルやメダカなどの生き物が姿を消しました。そこで、音羽川にホタルが飛び交い、そして、子供たちが安心して川遊びができる川を目指していくことを目的としています。

主な活動内容

国府町内の婦人会や子供会と連携しながら、音羽川の水質調査や水生生物調査を行うとともに、河川清掃や堤防の草刈りなどの河川美化活動を行っています。水質調査については、昭和60年から開始し、県や市の指導を仰ぎながら、そして、地域のみなさんの多大なご支援のもと、今まで活動が受け継がれてきました。

■音羽川の水質調査及び水生生物調査

水質調査は、岡本橋から八幡橋の間で音羽川に流入する排水口の水(年6回で8箇所)を採水し、COD、pH、透明度の3項目を調査しています。経年的な調査結果から、下水道整備されたエリアからの排水は、水質がきれいになっていることが分かりました。水生生物調査については、子供会とともに年1回行っています。

■音羽川の河川美化活動

音羽川の河川美化活動として、堤防の清掃活動を年11回行うとともに、夏場には堤防の草刈りも行っています。



水質調査の採水状況



水生生物調査



水生生物の観察



音羽川の清掃活動

写真提供：国府小学校区コミュニティ推進委員会

団体アピール

水の汚れの一番の原因は、家庭から出る汚れた水だといわれています。なかでも、台所からの汚れが多くを占めています。地域の人たちの環境に対する関心が高まり下水道整備が進むにつれて、音羽川がきれいになってきました。

今後とも、子供たちと一緒に活動をして、楽しく環境について学んでいきたいと思っています。

特定非営利活動法人 朝倉川育水フォーラム

代 表 者 ● 理事長 / 高橋 豊彦 設立年月日 ● 平成7年6月24日

主な活動場所 ● 豊橋市 朝倉川 ほか

主な活動テーマ ● 森づくり・郷づくり・まちづくり・川づくり

<http://www.asakuragawa.net/>



活動の目的

豊橋を流れ多くの市民に親しまれている朝倉川に、環境の指標生物であるホタルを回復するための河川環境改善事業や、環境改善に係るまちづくり事業を市民・企業・行政のパートナーシップにより行うことによって、朝倉川流域を中心とする豊橋市全域の環境改善を図り、もって自然あふれる住みよい地域社会の実現に寄与することを目的としています。

主な活動内容

朝倉川で環境調査やピオトープ作り、そして、ゴミゼロ運動などの河川美化活動を行っています。さらには、水源林保全のための里山づくり事業、全市的なホタル育成ネットワーク、環境改善に関する講演会及び啓発事業など幅広く活動しています。

■ 里山の再生への取組

川の再生を図るにあたって、その水源の維持は最も基礎的な必須条件です。したがって、朝倉川の水源地である石巻山多米県立自然公園の中の国有林を「里山」として再生するために、下刈り作業、自然観察会等を行っています。

■ 生物多様性のための川縁への植樹やピオトープづくり

川をコリドー（回廊）として機能させるためには、鳥や昆虫の移動が可能な水源林から海に至るまでのネットワークを形成する必要があります。そのために、川縁の植樹やピオトープづくりを行っています。

■ 朝倉川530(ゴミゼロ)大会の開催

地域住民、企業、行政の三者が一体となった河川環境美化運動の必要性を訴えるとともに、身近な環境改善運動へのきっかけづくりのため、平成9年から毎年、「朝倉川530大会」を行っています。

■ ホタル飼育ネットワークの構築

ホタルの飼育は当分の間は生息の危険分散を図ることが目標となりますが、それだけでなく、放流後の河川環境のモニタリングや他の生物への関心を同時に高めることも必要です。こうしたことを地域ぐるみでおこなうために人的なネットワークを形成するために活動しています。



収穫祭



朝倉川530大会



ピオトープづくり

写真提供:朝倉川育水フォーラム

団体アピール

私たちが川に対して行ってきた努力は、治水・利水、親水を経て、これからは、多様な植物や生き物を宿す水を育むことになっていきます。私たちはこれを育水(いくすい)と呼びます。私たちは育水の具体的な目標として、環境の指標生物であり、人々の郷愁をそそるホタルが、かつてのように朝倉川に大量に自生する状態を実現することを掲げました。そのために、市民、行政、企業など地域一体となって事業を推進していきます。

特定非営利活動法人 表浜ネットワーク

代 表 者 ● 代表 / 田中 雄二 設立年月日 ● 平成17年6月15日

主な活動場所 ● 豊橋市 ほか

主な活動テーマ ● 里海づくり

<http://www.omotehama.net/>



活動の目的

浜名湖以西から伊良湖までの遠州灘沿岸域(以下表浜海岸と言う)が、自然環境や社会環境の変化により存亡の危機へと追い込まれ、海岸の存続・維持の問題解決を迫られる中、表浜海岸に産卵に来るアカウミガメを環境問題の指標の一つとして位置付け、各地の個人、団体間の海浜および海洋の保護・保全・安全等に関する知識や活動の情報交換や次世代に繋ぐ提言を行うネットワーク組織として、地域社会との共存に寄与することを目的としています。

主な活動内容

表浜海岸と周辺環境の保全・修復・復元・再生に関する活動や調査研究事業、そして表浜シンポジウムなど環境保全に関するイベントを開催しています。さらには、環境保全に関する学習やマニュアルづくり、環境保全を目的とした啓発活動、他の環境保全活動団体と連携、協力して行う活動など幅広く活動しています。

■ 調査活動: アカウミガメ・砂浜の調査

北太平洋のアカウミガメは、繁殖地の北限が日本だということはあまり知られていませんが、ここ表浜海岸では毎年数十回の産卵がされています。私たちは、このアカウミガメを砂浜環境の指標とし調査を行っています。

■ 海洋・沿岸域に関する活動

表浜の海洋、沿岸域を保全するため、表浜海岸から黒潮のつながり、さらに太平洋のつながりを求め、国際的な視野で考える地域活動を行っています。

■ 砂浜再生プロジェクト

ウミガメを含む動植物や、海岸の利用にとっても重要である砂浜づくりを行います。



砂浜再生プロジェクト



ウミガメの生態調査



写真提供: 表浜ネットワーク

団体アピール

当会は、未来の子どもたちに、美しい表浜海岸を伝えるため、海岸環境について調査などによる現状の把握やその結果に基づく環境教育、海辺での遊びを行っています。また、海洋、沿岸域の保全については、国際的な情報も必要であり、世界的な枠組みなども視野に入れて、表浜海岸の保全を考えています。そして、地元の高校や大学、企業、地域の産業を含める地元住民との連携を大切に活動しています。

特定非営利活動法人 佐奈川の会

代 表 者 ● 会長 / 近藤 健治 設立年月日 ● 平成12年5月

主な活動場所 ● 豊川市 佐奈川 ほか

主な活動テーマ ● まちづくり・川づくり

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~sanagawa/>



活動の目的

自然環境と共生できるまちづくりを基本理念に東三河地方を流れる佐奈川の水質改善に関する事業を行い、地域社会に貢献することを目的としています。

主な活動内容

市民、学校、企業、各種団体、行政と連携・協働しながら佐奈川の水質改善に関する事業を実施しています。

■ 佐奈川河川敷の植生保護や美観推進に関する事業

金屋中学校前及び中部小学校前の佐奈川で草刈整備や草花の育成を行っています。

■ 佐奈川の水質浄化と生態系の保護に関する事業

桜木ホテルの会と連携をとり、ホテル育成事業およびそれに関する水質浄化活動の支援を実施。また、メダカ育成プロジェクトや小学校内のビオトープの支援を実施。

■ 佐奈川環境改善に関する意識の啓蒙啓発

宝飯豊川の小中学校にメダカを贈呈し、学校教材として河川の水質浄化の啓蒙啓発活動を行う。穂の国・子ども水辺サミットなどのイベント開催によって、環境改善活動全般の意識付け・意識向上を図っています。

■ 市民、行政、企業のパートナーシップによる

まちづくりに関する調査研究の実施

PTAを含めた幅広い教育関係者、町内会を含めた地域社会、さらには老人福祉施設、行政との連携を河川環境改善活動を柱とした上でさらに深く、さらに広げていくために、地道な話し合いと調査研究を続けています。



佐奈川に咲く彼岸花



地域住民とともに草刈り



子供たちの川遊び



清掃活動

写真提供：佐奈川の会

団体アピール

佐奈川の水質改善を図るだけでなく、佐奈川に対する市民の親近感を高め、環境保全に対する意識啓発を行っています。さらには地域コミュニティの一体感を醸成するとともに、活動による世代間交流を通し、青少年の社会性の増進と健全育成を図るなど多面的に地域社会に貢献できるように活動しています。

佐奈川に興味のある方は、是非一緒に活動しましょう。

特定非営利活動法人 てほへ

代 表 者 ● 理事長 / 伊藤 静男 設立年月日 ● 平成22年5月18日

主な活動場所 ● 奥三河地域

主な活動テーマ ● 森づくり・郷づくり・まちづくり

<http://tehohe.com/>



活動の目的

過疎・高齢化の進展、花祭り等伝統文化の消滅危機。疲弊する奥三河を、「志多ら」と支援者、地域住民と共に、自然や人々に感謝しながら伝統文化を継承し、奥三河を元気で活気ある地域にすることを目的としています。

主な活動内容

東栄町において、住民参加の林地残材搬出を通じて森と緑づくりの大切さを啓発するとともに、間伐技術の講習会、不在村地主の森林の整備に向けた境界確認調査を行っています。また、この地で暮らす人々の声を伝えていく情報発信事業や森林資源を活かしたエコ体験などの「のき山学校プロジェクト」を行っています。

■ 蒼の森～ふるさと暮らし塾～

志多ら・てほへの拠点「奥三河」の東栄町東園目地区において「昔ながらの自然な暮らしを創造しよう!」とスタートし、古民家や里山の畑(自然農)、山林(間伐材)、水資源(エネルギー)などを活用しながら、山仕事仲間の養成講座や間伐技術の講習会、不在村地主の森林の整備に向けた境界確認調査などを実施しています。

■ 情報発信事業:奥三河のき山放送局

奥三河やそこに関わる人々のありのままに密着、取材し情報発信する番組を製作しています。

■ のき山学校プロジェクト

子供たちが企画する体験や子どもはもちろん楽しく参加できる「絵本づくり」「自然観察・火おこし」「草木染め」「チェンソーアート体験」など様々な交流体験を行っています。



花祭り(花の舞い)



チェンソー講習会



山仕事仲間の養成講座



蒼の森 山小屋

写真提供:てほへ

団体アピール

昔ながらの山里暮らしから生きる知恵を学ぶ「蒼の森～ふるさと暮らし塾～」プロジェクトを進めています。自然農、農産物・加工品生産、間伐による森林保全、古民家再生・自然エネルギー活用、地域住民のお手伝いなどの活動を行っています。奥三河を元気にするため「蒼の森～ふるさと暮らし塾～」にボランティアとして参加してみませんか？

平成25年度過疎地域自立活性化優良事列表彰において総務大臣賞を受賞。

特定非営利活動法人 東三河自然観察会

代表者●会長／寺本 和子 設立年月日●昭和57年7月18日

主な活動場所●東三河地域

主な活動テーマ●森づくり・郷づくり・まちづくり・川づくり・里海づくり

<http://www.higashimikawa-shizen.jp/>



活動の目的

自然観察等の事業を通じて、自然に関する正確な知識・技術・経験の相互交流と、自然環境の保全に係わる情報の収集・交換・調査・研究を行うとともに、不特定多数の市民・団体等を対象に、自然解説活動を実施し、また、地域住民等の環境保全活動に対して、自然に関する知識の助言または支援・協力をを行い、環境保全に寄与することを目的としています。

主な活動内容

定例自然観察会、地域自然観察会を当会主催の自然観察会として開催するとともに、他団体の主催する自然観察会に協力し、講師を派遣しています。また、自然環境調査を行政や他の団体などと連携・協働して行っています。

■ 定例自然観察会

3月～12月まで、毎月第2日曜日に、豊橋公園などで自然観察会を開催しています。

■ 地域自然観察会

年4回、東三河のいろいろな場所を選んで、自然観察会を開催しています。

■ 東三河ふるさと公園自然観察会

東三河ふるさと公園で平成18年4月開園時から、毎月第3日曜日に行われる自然観察会に協力しています。

■ 新城総合公園自然観察会

新城総合公園で、春と秋の年2回行われる自然観察会に協力しています。

■ その他

学校、行政等の依頼があった場合、自然観察会に講師の派遣を行っています。行政等の依頼があった場合、東三河地域の自然環境調査を連携・協働して行っています。



干潟・磯の生き物観察会



水生生物調査



大村知事を囲んで集合写真



水鳥の観察

写真提供：東三河自然観察会

団体アピール

当会は植物、動物、地形地質の専門家集団や自然を愛する地域住民により構成されています。アウトドアの達人、スケッチや写真が得意な者、絵本の読み聞かせの名人など多彩な人材が会員です。これらの専門性を生かして、自然観察等の事業を通じて、自然に関する知識・啓発・自然環境の保全・回復、自然環境調査に関して技術的な助言、実践に今後も努力して行きます。

特定非営利活動法人 穂の国森づくりの会

代 表 者 ● 理事長 / 神野 吾郎 設立年月日 ● 平成9年4月12日

主な活動場所 ● 愛知県東三河地域

主な活動テーマ ● 森づくり・郷づくり・まちづくり・川づくり

<http://www.honokuni.org/>



活動の目的

かつて穂の国と呼ばれた東三河の森林の公益性と豊かな伝統を確認し、流域市民、企業、行政のパートナーシップのもとで、東三河の森林の保全、育成、再生等を通じて循環型地域社会の実現を図ることを目的としています。

主な活動内容

東三河の人工林を中心とした森林整備や豊川水源地での森づくり活動を行うとともに、森林ボランティア作業体験講座の開催、企業の森づくり活動の支援をしています。また、自然観察会、小学校への訪問授業や野外体験授業、市民向けのセミナー等の開催、また、森づくりの提言の推進など様々な事業を展開しています。

■ 森を守り、森を育む活動

東三河地域の森へ出かけ、森林整備作業を体験する森づくりの入門編イベントを実施しています。

■ 森を知り、森に親しむ活動

森林の仕組みや働き、林業などについて小学校に出向いて授業する訪問授業と森林整備体験や自然観察を、森林を舞台として実際に体験してもらう野外体験授業を実施しています。

■ 定例交流会の開催や機関誌「フォレスト」の発行

会員間や関係団体との交流・情報交換と会の活動報告も兼ねる定期的な交流会を開催しています。また、活動状況や森林に関する情報を発信する機関誌「フォレスト」を年4回発行しています。



森林整備の体験講座

植樹体験



小学校への訪問講座



小学生の森林体験



写真提供：穂の国森づくりの会

団体アピール

かつて「穂の国」と呼ばれた東三河は、豊川流域圏としての自然的な一体性を背景として文化的にも経済的にも強いつながりを持っています。この「穂の国」の源をなす奥三河の森林が疲労しています。今こそ、森林の公益性を認識する必要があります。流域圏が一体となって上流域社会の活性化を図り、森林の保全と自然の多様性の回復に努めなければなりません。こうしたことに取り組むため、流域の市民、企業、行政のパートナーシップにより、奥三河の森林の保全、育成、再生ならびに循環型地域社会の実現を図ってまいります。

豊橋うみがめクラブ

代 表 者 ● 会長 / 大須賀 哲夫 設立年月日 ● 平成14年4月14日

主 な 活 動 場 所 ● 豊橋市 表浜海岸

主 な 活 動 テーマ ● 里海づくり



活 動 の 目 的

表浜にやってくる「アカウミガメの調査、保護活動を通して自然環境への理解を深め、アカウミガメが生息する環境の保全に貢献すること」を目的としています。

主 な 活 動 内 容

表浜海岸に上陸するアカウミガメの実態調査や自然環境保全のための啓発活動を行っています。また、実態調査のデータを行政に提供したり、表浜のパトロールを行政や地域保護団体とともに実施しています。

■ 豊橋市域の表浜海岸に上陸・産卵・ふ化するアカウミガメの実態調査

毎年、5月から8月は上陸・産卵期、7月から10月はふ化期で浜へ出て調査活動を行うとともに、上陸・産卵・ふ化の経年変化についてデータ化しています。

■ アカウミガメの保護及び表浜の自然環境保全のための啓発活動

- ・表浜の自然やアカウミガメの観察会の実施。
- ・要請に応じてアカウミガメや表浜の自然についての出前講座や学習会を実施する。
- ・要請に応じて調査データ等の情報を提供する。



自然観察会の様子



子ガメ帰海



産卵のため上陸した親ガメ



上陸・産卵後の足跡

写真提供：豊橋市

団 体 ア ピ ー ル

太平洋岸の表浜海岸で希少種のアカウミガメ観察と保護活動を行ってきたボランティアの人たちが「豊橋うみがめクラブ」を組織しました。会員数は少ないがウミガメが好きで「これを何とかして守ってやりたい」「ウミガメの産卵という自然現象をいつまでも見続けることができる表浜であってほしいという思い」で観察活動を行っています。

ウミガメに興味があり、活動のフィールドの表浜へ来ることができる人は、是非共参加してください。楽しさを共有しましょう。

穂の国の森から始まる 家づくりの会

代 表 者 ● 代表 / 伊藤 正幸 設立年月日 ● 平成12年12月1日

主な活動場所 ● 豊川市 ほか

主な活動テーマ ● 森づくり

http://www.itoko.co.jp/top_link/mori_01



活 動 の 目 的

住まいはその土地に根付くもの(身土不二)とする考えを基本に、地元の自然の恩恵を受け、広くは「衣」「食」「住」「環境」のことを考えた健康で快適な暮らしを提案し、そして、山林に足を運び、森の現状と、木々の成長を喜び合いながら会員相互の親睦を深めていくことを目的としています。

主 な 活 動 内 容

愛知県産間伐材の杉板を教室の掲示板上に貼る活動や植林、下草刈・枝打ち作業、間伐体験などの山の見学会を開催しています。山と町、生産者と消費者、流通の川上と川下、各地を結び、つなぐ、ネットワークの大きな力が木を使った家づくりと健全な山や緑を取り戻す活動を幅広く行っています。

■ 教室の空気はビタミン材運動

学校校舎の教室で、黒板横掲示板上に県内産の間伐材を利用して作った杉板を生徒及び父母と一緒に張り付け、本物の木材に触れてもらう運動を行っています。さらに、山や森林の大切さについての勉強会も開催しています。

■ 山の見学会

実際に山に出向き、山や木に触れ、伐採の様子や貯木場や製材所などを見学し、山で仕事している方たちの話を聞いたり、直接肌で感じることを出来るイベントを開催しています。

■ 地域活動への参加など

地域の清掃活動や技術向上のための研修会などにも参加しています。



教室の空気はビタミン材運動 集合写真

山や木についての勉強会



小学生が杉板を張る作業

下草刈り体験



写真提供: 穂の国の森から始まる家づくりの会

団 体 ア ピ ー ル

昔の家は、近くの山の木や素材で作られていました。私たちは一人でも多くの方にふるさとの山の現状を知ってもらいたいと山の見学会を開催するとともに、子供たちと一緒に教室に間伐材を張り、地域の木の心地よさを体感してもらう活動などを行っています。

これからも、このような活動を通して、近くの山や森林など、素晴らしい環境を未来に伝え、残していきたいと考えています。

三河湾環境チャレンジ 教育協議会

代 表 者 ● 委員長 / 大塚 耕司 設立年月日 ● 平成15年4月1日

主な活動場所 ● 三河湾沿岸

主な活動テーマ ● 里海づくり



活動の目的

一番近い海、三河湾の楽しさ、豊かさ、おいしさを知る体験を通じて、地元の海を守る心を育てる。海を知る人々との交流を深めつつ、体験を通じて自分で考え、判断し、実行する能力を養い、三河湾で活躍できる人財を育成する。

主な活動内容

三河湾浄化の推進及び啓発を図る事業や、三河湾浄化・地球環境に関する教育事業を行っています。蒲郡市内の小学校及び東三河・西三河の小中学生を対象として、海の現状を学ぶことから水の循環に気づき、山林保護への理解を深めます。同時に生命の源である海を大切に思い、子どもが自分自身や家族と三河湾浄化に向けて、何かができるかを考えるきっかけを作る活動をしています。

■ジュニアシーレンジャー育成事業

子どもたちが一人で海にこぎ出していける力の基礎となる部分を養うために、環境学習はもとより、天気図や星座の見方、波の力や航海術、海にすむ生きものの観察など、海に関する専門家やNPOなどに講師を依頼し、多角的な視点から、海について学び、考え、実践する活動を行っています。

- ・三河湾のスナメリウォッチングの実施
- ・干潟(人工干潟を含む)での生き物観察の実施
- ・干潟の役割と必要性(干潟における生物多様性を含む)
- ・海から山へ 水の循環に関する勉強会の開催
- ・航海術の勉強会や海上・星空観察会の実施
- ・波の起こる仕組み、天気についての学習
- ・ダイビング、サーフィン等マリンスポーツの体験及び習得 など



スナメリウォッチング



干潟に生息する生物探し



ダイビング実習



海の環境に関する講座

写真提供:三河湾環境チャレンジ教育協議会

団体アピール

生命の源となる海。平成15年4月に、三河湾環境チャレンジ教育協議会が発足し、市内の小学校における「海の環境学習」活動は、平成24年で10年目を迎えました。これまでに、たくさんのお子たちが活動を通じて海に親しみ、生き物に触れる経験を通じて生命の不思議や、生き物を取り巻く環境など、多くの事柄に興味関心を抱き、学習をしてきました。今後も、子ども達に海を知るためのステップアップとして、様々な海のプロフェッショナルと協働し、もっと大きな視点で海をとらえてもらうために活動していきます。

環境活動 ワンポイント アドバイス!!

水循環再生のための環境活動がより活性化するため、掲載した事例を参考に「環境活動ワンポイントアドバイス」を作成しました。ぜひ、これからの活動に活かしてください。

活動の輪を 広げるためには

- 小中学校、大学、研究者、NPO、企業、行政などの多様な主体と連携して、活動を行う。
- 市民センターを中心に、地域団体及び地域住民とともに活動を行う。
- 様々なイベントに参加し、団体間の交流をきっかけに様々な活動への参加を促す。

活動を効果的に 進めていくための 組織運営上の工夫は

- さまざまな課題に対応するため、団体の中に部会(水質部会、清掃部会など)を設置して活動を行う。
- 地域の各種団体(企業・商工会議所・NPOなど)が集まり、新たな協議会を設立し活動を行う。

多くの方に参加して もらうためには

- イベントに子供を呼ぶ工夫をすることで、大人の参加にもつなげていく。
- 地域住民にとって憩える場所(桜並木、公園など)で活動を行う。
- 地元子供会や婦人会などの団体に声をかけて活動を行う。
- 行政を利用し、イベントの情報を発信してもらう。
(図書館や市民コーナーなどにチラシ配布、メーリングリストの利用など)

無理なく始め 継続していくためには

- 会員相互のエラー・ミスを温かく見守っていきながら、ゆるやかな関係で活動を行う。
- 小学校の総合学習の支援を行いながら、活動を行う。
- 活動にちょっとした遊び心を加えることで、活動の充実感が得られ、活動継続のモチベーションアップにつなげていく。
- 何かの「ついで」で行い会員の負担を少なくして活動を行う。

地域の情報を 地域で共有するには

- 団体独自のホームページを作成し、情報を発信する。
- 定期的に広報誌を作成・配布することで、情報を発信する。

**尾張地域／西三河地域／東三河地域
水循環再生地域協議会**

事務局：愛知県環境部水地盤環境課
TEL 052-954-6220(ダイヤルイン) FAX 052-961-4025
<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/mizu-ka/index.html>